



M - F - Release

エフ・リリース
NPO 法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL.60 2008. 7.10 発行

NPO法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
市民団体相互のネットワークの構築 等を通じて、市民がこの地域で誇り
を持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を
目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9
日 法人設立) 〒417-0815 富士市増川19-1

TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057

E-mail: info@ad-ism.com URL: http://www.fujikankyo-club.org

第3回日本モビリティ・マネジメント会議「JCOMM」

平成20年7月4日(金)~5日(土) 京都市国際交流会館
参加報告者: 加藤

昨年9月に富士市都市計画主催の協力事業(隊長)として実施した、公共交通乗車体験イベント【親子ワンデイ・トリップ・チャレンジャー】と【市街地循環バス路線にあける情報提供による沿線住民の利用意向変化】富士市ひまわりバスを事例として富士市関連の上記2事例をポスター発表にエントリーしました。

JCOMM 賞の受賞式も行われ、米国交通研究会委員長の Eric Schreffler 氏の記念講演もあり、過去2回を上回る400人弱の参加者があり、場内は大盛況でした。口頭発表ではテーマごと5部構成で「行政」「社会的便益」「教育現場」「まちづくり」「多面性」の観点から発表が行われ、「まちづくり」に関する発表では、現在MMの主流となっている居住者、職場、学校などとは違い、コンパクトシティと関連付けて中心市街地に居住させるためのMMの効果報告され大変興味深い内容でした。土木学会、都市計画学会などの研究者、国土交通省、環境省、経済産業省、自治体など年々参加者が増え、会場に入りきれず別室でのモニター聴講、ポスター発表も時間ローテーションになるなど熱気溢れる会議になりました。

富士市 都市計画課 公共交通推進担当 南山大学総合政策学部
ポスター発表 山田統括 山本主事 内田里奈さん



「富士市STOP温暖化地域協議会」の設立総会

平成20年7月5日(土) PM 7:00 出席者: 渡井、小池
協議会の設立発起人は、地球温暖化防止活動推進員で、ふじ環境倶楽部のメンバーでもある鈴木澄美さん
設立総会で示された会のキーワードは「もったいない」であり、活動方針は「自ら実践」と「普及啓発と学習」

「地球温暖化防止」というものすごく大きなテーマに対して、我々は、一人ひとりができることから始めていくしかない。

ふじ環境倶楽部も、さまざまな刺激と情報をいただける事に期待してこの協議会会員に登録しました。

山田辰美教授と共に講演を行った 杉山准教授 (富士常葉大学)



「そうだ沼川!プロジェクト」第1回実行委員会・幹事会

平成20年7月9日(水) 19:00~ ムニティ f
事務局: 渡井、小池、加藤、鈴木澄、太田、浅井、杉山、井出
参加団体: 今泉地区まちづくり推進会議、元吉原地区まちづくり推進会、わき水田宿川委員会、元吉原沼川ふれあいの川づくりプロジェクト準備会、元吉原自然学校サポーターズクラブ、原田湧水クラブ(原田こどもエコクラブ)、ボーイスカウト富士地区協議会、富士自然観察の会、富士常葉大学、しずおか型地域スポーツクラブTAC、県富士土木事務所(企画検査課) 富士市役所(河川課)(みどりの課)(市民協働課)

取材: 富士ニュース、岳南朝日、静岡新聞

